

## 令和6年度 中学校2年次研修 実施要項

- 1 目的 教職経験2年次の教諭に対して、初任者研修の一環として研修を実施し、より実践的な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。
- 2 対象 令和5年度中学校初任者研修受講者
- 3 日時等

回	日時		内容	会場等
	1班	2班		
20	5/28 (火) ～ 6/6 (木)		<b>セルフマネジメント</b> －学び続ける教職員であるために－ <b>児童生徒理解を深めるために</b> －校種間連携について／学級危機管理について－ 〔講義・演習〕	<b>オンデマンド開催</b>
	6月18日 (火)	6月20日 (木)		
	<b>15:00～17:00</b>			
21 ～ 23	7月～12月 (夏季休業～ 冬季休業)		<b>市町村教育委員会 実施研修 (全3回)</b> (社会体験、もしくは各市町村の福祉教育に関する内容を含む) 〔見学・実習等〕	市町村教育委員会 から別途通知
24	9月～12月		<b>授業づくり</b> －授業研究－ 〔演習〕	所属校等
25	1月28日 (火) 14:00～17:00		<b>授業づくり</b> －授業研究報告－ 〔講義・協議〕	大阪府教育センター

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

※第20回は、集合開催とオンデマンド開催との両方を受講してください。

- 4 会場 第20、24回 所属校等

第20、25回

大阪府教育センター (大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
  - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
  - (3) 自家用自動車・バイク等は、大阪府教育センターに駐車できません。
  - (4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。
  - (5) Web開催(オンデマンド開催、リアルタイム開催)の場合、教員研修プラットフォームに掲載する実施マニュアルを参照すること。
- 6 担当室 企画室

## 令和6年度 中学校2年次研修 シラバス

## 1 目的

教職経験2年次の教諭に対して、初任者研修の一環として研修を実施し、より実践的な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期															
第1期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第0期															

## 3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	準備物・事前課題
20	セルフマネジメント ー学び続ける教職員であるためにー	講義、演習を通して、「OSAKA 教職スタンダード」を基に、今後の教員としての在り方、めざす方向性について学び、教職員としての自覚と使命感、自己改善力を高める。	<b>準備物</b> 中学校2年次研修 「実施要項・シラバス」
	児童生徒理解を深める ために ー校種間連携について ／学級危機管理についてー	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義、演習を通して、他校種における取組みを学ぶとともに、自校との関わりを考えることで、校種間連携の重要性について理解する。</li> <li>講義、演習を通して、自身の学級経営や指導の在り方を振り返り、学級危機の未然防止の方法について考える。</li> </ul>	
21 } 23	市町村教育委員会 実施研修（全3回） （社会体験、もしくは各市町村の福祉教育に関する内容を含む）	地域における社会体験活動や福祉体験、校種間連携等に関する実習や見学を通して、地域社会と関わり、社会人としての基礎的素養を身に付けるとともに、教育活動における地域社会との連携について考える。	
24	授業づくり ー授業研究ー	1年次に学んだ授業づくり研修等のポイントを踏まえ、学習指導案の立案・授業実践を通して、単元を見通した授業について実践内容を振り返り、授業力の向上を図る。	
25	授業づくり ー授業研究報告ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義、協議を通して、授業づくりの成果と課題を明確にし、授業改善の方向性を考え、今後の授業改善に向けて、見通しを持つ。</li> <li>初任者研修「授業づくり8」で明確になった課題をもとに、2年次の授業実践に</li> </ul>	<b>事前課題</b> 実践レポート（学習指導案含む）を作成し、持参する。 ※詳細は、前年度の初任者研修「授業づ

		ついて交流する。	くり8」にて連絡済み。
--	--	----------	-------------

## 4 OSAKA 教職スタンダードとの関わり

求められる資質・能力		第1期	研修回
I	1 人権尊重の精神	人権尊重に基づいた子ども理解ができ、指導することができる	
	2 危機管理能力	学級等の安全管理ができる	20
	3 学び続ける力	優れた取組みに学ぶ姿勢を持っている	20
II	4 課題解決能力	子どもの課題を把握し、解決に向けて行動できる	
	5 法令遵守の態度	教育公務員として法令を遵守することができる	
	6 事務能力	計画的かつ正確・丁寧に処理できる	
III	7 協働して取り組むことができる力	組織の一員としての自覚を持っている	21、22、23
	8 ネットワークを構築する力	課題を解決するために相談することができる	20、21、22、23
	9 マネジメントする力	学級経営等を行うことができる	20
IV	10 授業を構想する力	子ども主体の学習指導案を作成することができる	24、25
	11 授業を展開する力	基本的な授業スキルを実践に生かすことができる	24、25
	12 授業を評価する力	様々な方法を用いて自分の授業を振り返る	24、25
V	13 子どもを理解し、一人ひとりを指導する力	個に応じた指導・支援ができる	
	14 子どもの集団づくりを指導できる力	迅速な報告・連絡・相談を行うことができる	
	15 子どもを集団づくりの中でエンパワーできる指導力	学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる	